



NPO 法人

遊悠舎京すずめ 理事長 土居好江

電話：075-241-9839

## 東日本大震災・被災地応援プロジェクト

### 9 月 18 日（日）新婚カップルを京都にご案内～成美大学とのコラボレーション 「風のチャペルプロジェクト・ハネムーン in 京都」の開催について

NPO 法人「遊悠舎京すずめ」では、東日本大震災のため結婚式を挙げられなかった被災地のカップルを招待して結婚式を行う成美大学のプロジェクトに賛同し、協賛企画として「風のチャペルプロジェクト・ハネムーン in 京都」を開催いたします。

陸前高田市・気仙沼市から 3 組のカップルそしてご親族をお迎えします。嵐山周辺の文化観光を皮切りに、京の湯豆腐懐石の名店「松籟庵」での会食、京福電鉄「東北応援・嵐電嵐山駅」視察を行い、龍安寺参拝へ。そのあと、京・北山杉の名所に場所を移し、記念植樹を行います。東北の皆さまの思い出作りと、京都のメンバーとの交流を図る取り組みです。

記念植樹式では「東北新生希望の木」、「風のチャペルプロジェクトの木」、そして「新婚カップルの木」の植樹を行います。また、併せて 66 年前に広島の爆心地近くで被曝した「被曝アオギリ 2 世」の苗木も植樹します。

被災地を応援し、人々の絆と交流を確認する 1 日としたいと思います。

#### 【開催概要】

- タイトル：「風のチャペルプロジェクト・ハネムーン in 京都」
- 日時：平成 23 年 9 月 18 日（日） 11:30～17:30
  - ・ 11:30～12:30 成美大学からのご一行到着～松籟庵で会食
  - ・ 12:30～13:00 嵐山観光～大堰川散策
  - ・ 13:00～14:30 嵐電・京福電気鉄道(株)訪問・「東北応援 嵐電嵐山店」視察
  - ・ 14:30～15:30 龍安寺参拝
  - ・ 16:00～17:30 北山杉のふるさと中川にて記念植樹
- 主催：NPO 法人「遊悠舎京すずめ」  
〒604-8244 京都市中京区小川通蛸薬師上る元本能寺町 382 MB ビル 1-4D
- 共催：成美大学「風のチャペルプロジェクト」  
〒620-0876 京都府福知山市字堀 3370
- 問い合わせ：NPO 法人「遊悠舎京すずめ」事務局 Tel. 075-241-9839  
※当日のお問い合わせは携帯電話：土居 090-2065-5590 吉田 090-7977-9133 まで。
- 協賛：松籟庵、嵐電(京福電気鉄道(株))、ホテル京阪京都、中源(株)、京湯葉千丸屋
- 協力：京都文化観光研究所、柊正也(eurisko.inc)、左藤滋光(澄禅寺十世住職)

※これはアオギリ里子運動の関西事務所代表の左藤滋光住職(京すずめ会員)のご好意で苗を頂戴したものです。終戦記念日の8月15日には金閣寺、銀閣寺でも記念植樹が行われました。

#### 御招待カップル

- 小野寺 優・江理ご夫妻 (気仙沼市)
- 近江 真樹・仁美ご夫妻 (陸前高田市)
- 石川 誠・舞ご夫妻 (気仙沼市)

#### 記念植樹 式進行次第

- 一 歓迎の言葉 門川大作・京都市長
- 一 歓迎の言葉 中源株式会社・中田治 代表取締役
- 一 記念植樹感謝の言葉
- 一 記念品贈呈 「京恋慕」CD 置時計  
音楽作家 柊正也(京すずめ会員)氏
- 一 記念植樹御礼の言葉 成美大学 戸祭達郎 学長
- 一 詩の朗読 「あい」(谷川俊太郎作) 栗塚旭(京すずめ会員)氏

#### 参考資料

#### **<関連サイト>**

「遊悠舎京すずめ」<http://kyosuzume.blogspot.com/2011/09/blog-post.html>

「成美大学」<http://uv.seibi-gakuen.ac.jp/studentproject/cat43/cat17/>

#### **「松籟庵」**

近衛文麿公の別邸跡を買い上げて、湯豆腐懐石の料理店としてオープンしました。老朽化の激しいお屋敷を丹念に修復工事をして蘇ったのが2005年の夏です。特にガラスや建具は当時のもので、もう手に入らないものばかりです。

ロケーションが最高で嵐峽を見下ろし、山の音や川のせせらぎが聞こえてきます。また、春夏秋冬の美しい日本の原風景がここにあります。自然と一体感を楽しめるロケーションは何よりのご馳走で、各部屋はオーナーで書画家の小林芙蓉先生のギャラリーを兼ねています。芙蓉先生の書画は世界中で展示会が行われています。

ちなみにお隣の夢裕齋亭は、かつて川端康成先生が『山の音』を執筆された隠れ家で、静かな自然との対話が楽しめる場所でもあります。

## 「湯豆腐と京都」

湯豆腐のルーツは江戸時代に遡ります。江戸時代の豆腐料理の書『豆腐百珍』(1782 年)では、「京都では湯とうふ、おほさか浪華では湯やっこと呼ぶ」と述べられています。その口当たりが上品で、ほんやりとしている湯豆腐は、今日でも京の代表的な料理です。

湯豆腐が美味しいのは昆布だしのグルタミン酸がうま味を引き出しているからです。1908 年に発見された昆布のうま味グルタミン酸が、湯豆腐の美味しさのもとであることから、「うま味」と名づけられ、甘味・酸味・塩味・苦味に続く第 5 の味覚の誕生となりました。うまいという字も旨いと美味いがあり、油ののったうま味を旨味という説もあります。

## 「北山杉」

約 600 年前に北山丸太の歴史は始まります。一樹多幹の北山台杉のルーツは室町時代の遡り、山は急で平坦な土地が少ないため作物を育てることが難しく次第に林業が盛んになっていきました。、林業地の苗木育成の問題から始まり、「取り木」と呼ばれる台をつくり、そこから枝を垂直に伸ばして「立ち木」を仕立てて恒常的に磨き丸太を生産していきます。先人が山で枯れている1本の木の幹から何本も枝が出ているのを見て、人工的に作りだせないかと考案しました。これが北山杉のルーツです。千利休がここ北山の地を含む洛北一体の伐採剣を持っていたとも伝えられ、数寄屋造りに欠かさないのが、北山磨丸太でもあります。近年は住宅事情が激変して、床柱につかう和室が少なくなり、需要が少なくなっていますが、日本の文化と密接に関わってきた歴史があります。